

## **HazardFilter** iOS への証明書インポートについて

株式会社 YE DIGITAL

### 【 質問 】

証明書のプロファイルをインポート後も証明書警告が発生します。

### 【 回答 】

HazardFilter では HTTPS サイトのデコードおよび規制画面を表示する際に独自証明書を利用しています。

そのため、クライアント側に証明書をインポートし、独自証明書が信頼されている必要があります。

インポートされていない場合、以下の現象が発生します。

- ・HTTPS サイトが表示されない
- ・HTTPS 規制画面が表示されない

iOS10.3 以降では、各製品の証明書インポート後も以下の設定がされていない場合、証明書情報が有効となりません。

[設定] - [一般] - [情報] - [証明書信頼設定]

利用されている製品のルート証明書を有効とすることで、証明書の警告が解消されます。

端末側で証明書のインストール、セットアップを行なった場合は該当設定の確認を行なってください。

Apple Configurator や MDM 製品経由で配信した証明書は自動的に有効となります。

※端末側で解除することができません。

### [参考サイト](#)

※HazardFilter をご利用の環境で、以下の条件を全て満たす場合、上記の対応を行っても証明書警告が発生することがございます。

#### [条件]

- ・iOS13 のクライアントを使用している

これは、WebFilter が動的に発行している TLS サーバ証明書の有効期間が長く設定されており、この有効期間が Apple 社で定めている、信頼できる証明書の要件を満たしていないことが原因です。